



2024年度 ひかり くらすだより

教員教会幼稚園 園長 有岡史季

2月10日 発行 執筆者 岡村伶侖



あなたに子ども春の訪れが待ち遠しい季節です。厳しい寒さが続いています。子どもたちは春を待ちながら外やホールで元気いっぱい遊んでいます。3学期に入り、これまでの経験を活かして園生活を主体的に営むことができるようになりました。また、隙間時間には「サリットゲーム」や「どけい」などの集団遊びも楽しんでいます。特に集団遊びでは、みんなが気持ちよく遊ぶことができるようルールがわかることを伝え、「正しいルールを守って遊ぶ楽しさ」を味わえるよう見守っています。

さて、もうすぐ待ちに待った生活発表が行われます。特別号の今回のお便りでは、取組の様子から演目の見どころまで、たっぷりお届けします!!



劇「11羽のねとあほうどり」



作: 鳥場のぼる

仲間と力を合わせ様々な出来事を経験していく「11羽のねと」シリーズ。思えば、11羽のねとが展開が見どころで、子どもたちの大好きな絵本です!

あらすじ: フロッグの店を始めた11羽のねとたち。お店は大繁盛でしたが、そのうちに「おれ」が残るようになり、毎晩フロッグを返さなければならない。そんなある日、11羽のあほうどりたちがやって来て、11羽の兄弟がいることを話します。鳥のれんさ、が返さないねとたちは、気球に乗ってあほうどりの国に行き、フロッグを作ることを約束した。作業者通り鳥のれんさもお腹いっぱい返さなければならないのでは!?

「教師の願い・取組の芽」

絵本も舞台にあたり、大好きな絵本の世界に入って物語の面白さを味わい、その中で一人ひとりが持つ力を存分に発揮してほしい、仲間の存在や良さに気付かせ、みんなを助けることの大切さを感じてほしい!という願いも込めました。また、何事にも一生懸命、面白いことが大好きな子どもたちと一緒にこの物語を作りあげたいと思います。この物語を選びました。

いざ子どもたちに読み語りすると、予測どおしお話の面白さに興味津々!すぐに物語の世界に入り込み、まずはフロッグ作りからスタートしました。そこからや、おたけい役にはかかれ劇ジーンをしたり、仮装の飾り台詞に大爆笑したり、毎日楽しんで「取組むことができたよ。取組むおもしろいよ。制作物や役ごとの動きは、様々なアイデアが飛び出し、子どもたちと一緒に劇を盛りあげてきました。役には入り、仮装と一緒に演じる楽しさをじっくりと味わい、みんなが響き合う喜びを十分に感じながら「取組むこと」経験が、子どもたち一人一人の成長の糧とほほえましくお祈りしています。

当日は、あなたに
眼差しの大きさは
おもしろい!!



見どころはニ箇

台詞だけでなく、アクションや道具の出し入れなども子どもたちが担っています。自分の役割を理解し、自分達で

劇を遊んでいく姿がとっても楽しい。子どもたちがそれぞれの希望した役を演じています。台詞・役割の負担については、「当番活動で頼もしい姿を見せられる〇〇君にはこの役割!」というように、一人ひとりの得意なところや希望したところが十分に発揮されることを願って決定しました。また、言葉に込められた思いや役の原動力を子どもたちと一緒に考え、動きや表現を工夫したところが見どころです!!

★大道員・川道員 看板やキッキン、気球など、沢山の制作物が登場します。その中でも、11羽目の巨大あほうどりは、本物の鳥のようはれみ再現できるとして制作しました。

♪歌 ねとあほうどりで

作詞・作曲 北川悠仁
「勇気をもって踏み出そう」「大好きなみんなの笑顔が宝物」「信じてあげよう」みんなの思いと願いが込められている明るい曲です。歌、いけるといってあなたに、ぜひ、大好きな仮装の存在を新しく感じられます。子どもたちの伸びやかで力強い歌声を、どうぞお聞きください!!